

12月11日 第1回瑞浪北中学校合唱発表会

瑞浪北中学校が開校して8ヵ月。第1回の合唱発表会が瑞浪市総合文化センター大ホールで行われました。当日は生徒と保護者だけではなく、地域の方々も多く足を運んでくださいました。また、日本を旅行中の、ALTのリンジーのご両親の姿もありました。

会は全校合唱からスタートしました。合唱委員長の指揮に合わせて、全校で「COSMOS」を大合唱。全校生徒の歌声がホール一杯に響きました。



全校合唱からスタートです。



その後、1年生3クラスの合唱、学年合唱と続き、元気いっぱい歌声が観客を楽しませました。1年生の合唱には初々しさが漂いました。どのクラスも先輩たちに負けまいと頑張って歌い込み、仲間と協力し合って曲を仕上げてきました。小学生の時とは違う歌声にたくましくなったと感じた保護者の方も多かったことでしょう。

2年生の歌声はしっとりとしていました。選んだ曲も曲調の変化に富み、それを見事に表現していました。式や伴奏にも安定感がありました。とりわけ指揮者は、全てのパートに目を配り、流れるような腕の振りで合唱をリードしていました。観客の中には1年生の合唱との違いに中学生の可能性を感じた方も多かったことでしょう。

3年生の合唱は感動的でした。挑戦した曲の難しさを考えると、それを歌いこなしたことに3年生としての貫禄があります。語りかけるような歌声にも、3年





生の底力を感じました。最後の3年生の学年合唱「青葉の歌」は圧巻でした。出だしから観客の心に響き、3年生のパワーが聴く人全てを魅了しました。後輩たちの中には、将来の目指す姿としてあこがれを抱いた者も多かったことでしょう。

指導講評は、11月の終わりに指導して下さった中村隆夫氏。北中の合唱を高く

評価してくださいました。学校の中にはコンクール形式で賞を狙うことをモチベーションにして取り組んでいるところもあるようですが、北中はそうではありません。仲間と作り上げること、より質の高いものを目指して努力していること、そして、聞く人に感動を届けること……そんな北中の合唱はこれからも受け継がれていくことでしょう。